

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2013.11.21 No.135

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

荻窪税務署と「あんさんぶる荻窪」を財産交換 区民サービス削減計画と一体の特養整備に

一方的な方針発表は問題 いったん白紙に戻し、再検討を

十一月十四日(木)、マスコミ各社が一斉に、杉並区と財務省の財産交換方針についての報道を行ないました。これは、杉並区と財務省の間で、区の「あんさんぶる荻窪」と財務省の「荻窪税務署及び隣地の国家公務員宿舎」を交換する方針が決められたことを受けてのものです。

「あんさんぶる荻窪」は、荻窪駅南側にある区の複合施設であり、二〇〇四年に建設されたばかりです。福祉事務所や消費者センター、児童館、社会福祉協議会等の各種機能と共に、会議室や学習室等も兼ね備え、住民や区内団体の拠点としても重要な役割を果たしてきました。

今回の方針は、議会には一切情報が提供されず、議会も突然の報道により状況を知りました。住民にも全く知らされず、区民サービスを削減する方針が決定されたことは大きな問題です。一方的な方針決定は、いったん白紙に戻し、住民の意見を聞き取り、再検討することを強く求めます。



11月14日付朝日新聞より。
議員も新聞報道で事態を知ること。
現場の声を聞き取らない区長のトップ
ダウン姿勢が目立っています。

あんさんぶる荻窪の機能移転先

施設	具体的な内容
福祉事務所	荻窪税務署用地へ移転
荻窪北児童館	学童クラブ、小学生の放課後居場所事業は桃井第二小内へ移転。乳幼児親子の集いの広場(ゆうキッズ)は保健センター内に設置予定の(仮称)子どもセンターへ移転
消費者センター	荻窪税務署用地へ移転
環境情報館	H26年度内に移転(移転先は未定)
社会福祉協議会	荻窪税務署用地へ移転
成年後見センター	
ボランティア・地域福祉推進センター	
地下駐輪場	現在の場所で維持を検討

住民サービス削減と一体ではなく 特別養護老人ホーム整備を実現せよ

党区議団は、この間も一貫して、廃止決定された国家公務員宿舎を活用し、特別養護老人ホームや認可保育所の整備を求めてきました。

先の区議会でも、今回の国有地について、私自身が特養ホームの整備を求める質疑をしたところ。この国有地は、荻窪税務署を別にしても三三〇〇㎡程度の広大な用地であり、特別養護老人ホーム(一〇〇床程度)の整備に十分な規模があります。土地の取得は、賃料を大幅に引き下げするための定期借地などでの活用も可能であり、今回のように住民サービスの削減と一体の財産交換などではなく、公有地を適切に確保し、特養ホーム整備を行なうことが重要です。

「保育の質」の低下を懸念… 新設認可保育園（企業経営）職員の退職が相次ぐ

■平成26年度に3カ所の私立認可保育園が新たに開所します。

平成26年4月開所

保育園名	所在地	電話	摘要	定員					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4-5歳	計
(仮称)アスツ荻窪園	清水1-18	未定	9週目以上(延)	6	20	20	20	34	100
(仮称)ういす阿佐ヶ谷駅前保育園	阿佐台北1-15	未定	// (延)	6	14	15	15	30	80
(仮称)ビーナ本天沼保育園	本天沼3-35	未定	// (延)	6	10	12	15	30	73

保育園天沼は、平成26年4月から認可保育園に移行します。

保育園名	所在地	電話	摘要	定員					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4-5歳	計
(仮称)アスツ荻窪園天沼分園	天沼2-30-10	6383-7122*	1歳以上(延)	15	15				30

*平成26年3月までは、保育園天沼の電話番号です。

来年4月に新規に開所する認可保育園（株式会社） 入園案内より

この園の運営事業者は、関東近隣で保育事業を展開する株式会社であり、保育従事職員の待遇や現場の体制などが懸念されます。

この間、区内で新設される認可保育園の運営事業者の多くが、営利を目的とする株式会社です。営利目的の運営事業者は人件費などを圧縮することで利益を生み出すため、現場の職員に過大な負担を強いるケースが増えています。

杉並区が保育所整備を営利目的の民間企業に丸投げするのではなく、公立や社会福祉法人の設置に力を入れるよう求めます。

職員体制は子どもの命と安全に直結 民間丸投げの区の姿勢を改めよ

杉並区内の新設認可保育園で職員の年度途中での退職が相次いでいます。園に子どもを預ける保護者からの情報提供により、問題が明らかになりました。

そもそも、この園では、以前から職員体制を巡るトラブルが発生しており、新規に採用された職員がひと月で退職するなど、職員体制が常に不安定な状況でした。

今回、〇歳児担任と四歳児担任が同時期に退職し、現場の引き継ぎも困難な状態になっているとのこと。直ちに区に事実確認をしたところ、すぐに手を打ち、立て直しをはかるよう指導した」とのことでした。

育メン日誌

極度の遠視が判明 眼鏡生活に…

息子が眼鏡をかけることになりました。3歳からの眼鏡生活ですので、暫くは苦勞しそうですが、早目に気付いて本当に良かったです。

妻は保育士でもあり、息子の視力には違和感があったようで、自宅で簡易検査をしたところ、あまり視えていないことが判明。医療機関と相談したところ、両目の視力が0.15程度で、「常に全体がボヤけて見えているはずだ」とのこと…。「産まれた時から、この状態なので、本人には違和感が無い」とか…。しかし、6歳頃までは眼鏡による矯正が効くため、回復するだろうとのことでしたので、一安心。

実は、私も妻も視力がとても良く（2.0、この状態が既に遠視）、「子どもに強い影響が出たのではないか」とのことでした。

眼鏡生活を始めた途端、息子は世界が見えやすくなったのか、積極的に眼鏡をかけてくれるようになり、大助かりです。家族揃って眼鏡生活を頑張ります！



すぐに慣れました！

保護者からの情報提供の内容

退職する職員への聞き取りを行なった保護者より

「常に無理なシフトを組まされてきた。現場は大変なことになっている。この間も待遇改善を求めてきたが、変わらなかった。体調を崩すことが多かった。10月は行事も多く、先日もダウンした。子どもたちが心配。父母会などを作り、意見を上げてもらいたい。」

※現場の職員の過酷な労働環境の実態です。

外環道計画 各地で地質調査 本格工事着工に向けて

外環道計画の本格工事着工に向けた準備が着々と進んでいます。住宅街直下の大深度地下の使用について、様々な影響が懸念される中、工事着工をすることは許されません。



善福寺地域美樹園公園にて地質調査が行なわれました（左）地下水観測孔も設置されています。